

平成28年度(第1-2四半期)
事業の報告書
(平成28年4月1日▶平成28年9月30日)



【表紙写真について】
平成28年9月に竣工したケーブ型散積船"NSU SIRIUS"
(載貨重量トン数182,981トン)



証券コード 9110
NSユナイテッド海運株式会社

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

Q 当期の当社を取り巻く事業環境と連結業績を教えてください。

A 当第2四半期連結累計期間の売上高は597億69百万円、営業利益は23億59百万円、経常損失は75百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は65百万円となりました。

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国が労働市場の改善により堅調を維持しているものの、中国経済の減速や英国のEU離脱決定後のリスク回避的な円高進行など、依然として景気の下振れリスクが強く、総じて不安定な状況が続きました。外航海運事業のうちドライバルク事業につきましては、ケーブ型撒積船を中心に新造船の竣工量と高齢船の解撤量がほぼ拮抗し、供給過剰に歯止めが掛かるなかで、豪州やブラジルの資源大手が出荷を積極化したことに加え、堅調な中国の鉄鉱石輸入などに支えられ、需給が引き締まりました。その一方で、パナマックス型以下の中小型撒積船は、南米積み穀物が堅調に伸びたことをきっかけとして、大西洋を中心に一時的な市況の上昇が見られましたが、ハンディマックス型の新造船竣工が相次いだことにより、需給バランスの改善には至らず、十分な回復とは言い難い展開となりました。原油タンカー事業につきましては、原油価格低迷の長期化に伴い需要に一服感が漂う中、新造船の流入圧力が強まり市況は軟化しました。内航海運事業につきましては、鋼材の国内需要の持ち直しが見られたことなどにより、ドライバルク部門を中心に総じて安定した輸送量を確保しました。燃料油価格につきましては、当初の想定を下回る水準で推移しましたが、OPECの生産調整取り決めの影響により、原油市場が上昇基調にあるなかで、燃料油の先物予約を実施することにより、将



代表取締役社長

小島 徹

来の大幅な価格変動リスクを低減しました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高は597億69百万円、営業利益は23億59百万円、経常損失は75百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は65百万円となりました。

Q 当年度は現中期経営計画『Unite & Full-Ahead! II』（平成26年4月～平成29年3月）の最終年度ですが、見通しはいかがでしょうか。

A 平成28年度は特に中小型撒積船市況において回復の遅れが著しく、当初計画の達成は非常に厳しい状況にあります。このような状況下、最終利益の最大化に向け、内外航とも収益向上を図るべく、NSユナイテッドグループ企業全体の力を結集し、取り組んでまいります。

現中期経営計画のテーマ

Unite & Full-Ahead! II

平成26年度～平成28年度

Unite & Full-Ahead! II

～新たな発展へのスタート～

【NSUグループ企業全体の結集により、内外航ともに収益向上を図る】

【大型船型による資源輸送などの強みを伸ばし、プレゼンス向上を図る】

目標と重点戦略

中期経営目標

2018年度連結売上高2,000億円、連結営業利益120億円達成を目標に、ドライバルクを中心とした事業基盤を強化する。

5つの重点戦略

- ① 新日鐵住金(株)グループをはじめとする、国内外の顧客向け輸送サービスの深化・拡充
- ② NSUグループ内の協働・連携強化による新規商権開拓および獲得
- ③ 安全・安定運航の徹底
- ④ グローバル展開に向けた組織強化と人材育成
- ⑤ 財務体質の強化

Q 株主還元に対する考えを教えてください。

A 中間配当は見送らせていただきますが、連結業績に対する配当性向は概ね25%とさせていただきます。

当社は株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置付け、将来における安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内

部留保資金を確保しつつ、経営成績に応じた株主各位への利益還元を継続的にを行うことを基本方針とし、連結業績に対する配当性向は概ね25%としています。当第2四半期の配当につきましては、海運市況および為替の先行きが不透明なこともあり、通期決算時に判断することと致したく、誠に遺憾ながら、第2四半期末における中間配当は見送らせていただきます。

Q 平成28年度の業績見通しについて教えてください。

A 第3四半期以降の前提条件として対米ドル円換算率は105円、燃料油価格は内地C重油価格トン当たり280ドルとし、連結業績予想は以下の表の通りとなっております。

平成29年3月期連結業績予想

■ 売上高	1,230億円 (前期比10.3%減)
■ 営業利益	49億円 (前期比24.3%減)
■ 経常利益	21億円 (前期比48.3%減)
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	29億円 (前期比29.4%減)

事業別の概況

当第2四半期のポイント

- ・歴史的な市況低迷下、効率配船・安全運航に注力し、外航海運事業では売上高490億28百万円・営業利益18億94百万円となりました。
- ・内航海運事業では売上高105億55百万円・営業利益4億66百万円となり、安定した業績を達成しました。

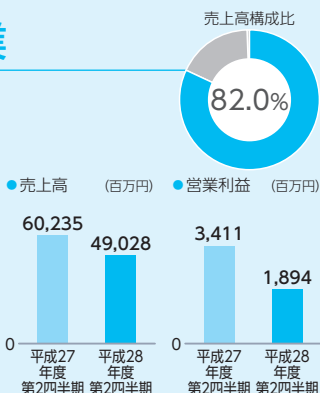
外航海運事業

■ 売上高

490億28百万円
(前期比 18.6%減)

■ 営業利益

18億94百万円
(前期比 44.5%減)



■ ケープ型撒積船

ケープ型撒積船市況は、年度初めの主要5航路平均用船料率が日額3千ドル台と低迷しましたが、高齢船の解撤により稼働船腹数が抑えられた一方、中国の鉄鉱石輸入が堅調に推移したことにより、9月に入り1万5千ドル台まで回復しました。主要荷主である新日鐵住金(株)殿向けや、海外顧客向け輸送でも短期・中期輸送契約を継続的に獲得するなど、国内外において積極的な営業活動を継続した結果、当初の計画を達成することが出来ました。

■ パナマックス型撒積船

パナマックス型撒積船市況は、年度初めの主要4航路平均用船料率が日額4千ドル台から始まり、南米産穀物輸送の活発化や高齢船の解撤量増加などを背景に、一時7千ドル台を突破しましたが、その後は総じて上値の重い展開が続きました。国内電力・一般産業の主要顧客から契約を獲得したことに加え、支配船隊の配船水域を分散させることで広範な集荷活動を行うなど、配船に工夫を凝らしましたが、長引く市況低迷を受け、当初の計画を達成することは出来ませんでした。

■ ハンディー型撒積船

ハンディー型撒積船市況は、7月以降に大西洋を中心として回復の兆しが見られましたが、期中を通じて当初の想定を下回る水準で推移しました。北米ガルフ・東岸向け鋼材の荷動きは、原油価格の低迷やアンチダンピング措置等による鋼管類貨物や熱延・冷延類貨物の減少が見られたものの、堅調な中米向け鋼材に支えられ、全体の輸送量は微減にとどまりました。南米西岸積み非鉄鉱石や北米積み穀物などの既存貨物を組み合わせた効率配船などにより、市況低迷の影響を吸収すべく最大限努めました。当初の計画を達成することは出来ませんでした。

平成28年度第2四半期累計期間当社グループ船隊整備実績 (5年以上の長期用船を含む)

	隻数	総重量トン数 (K/T)
外航	2隻	216,388重量トン (K/T)
内航	1隻	1,710重量トン (K/T)

平成28年度(第3-4四半期)当社グループ船隊整備計画 (5年以上の長期用船を含む)

	隻数	総重量トン数 (K/T)
外航	6隻	808,950重量トン (K/T)
内航	0隻	0重量トン (K/T)

■ 近海水域における小型船

近海水域における小型船は、日本積み中国揚げ鋼材の輸送量は、自動車産業向けが堅調に推移したことにより、前年同期とほぼ同水準で推移しました。効率配船を徹底した結果、荒天や円高などの影響は受けたものの、当初の計画を達成することが出来ました。

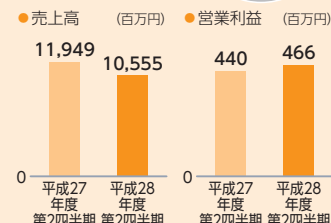
■ 油送船

原油タンカー市況は、夏場の不需要期を迎えたVLCCに加え、新造船の竣工が相次いだVLGCにおいても軟化しましたが、当社は所有船を定期貸船契約で固定することにより、足元の市況変動の影響を受けにくい構造としているため、当初の計画を達成することが出来ました。一方で、当社シンガポール子会社NS UNITED TANKER PTE. LTD.における外航ケミカルタンカー事業につきましては、同様の契約形態で収益の安定化を図ったものの、所有船の不稼働などにより貸船料収入が減少し、当初の計画を達成することが出来ませんでした。

内航海運事業

■ 売上高

105億55百万円
(前期比 11.7%減)



■ 営業利益

4億66百万円
(前期比 5.9%増)

■ 内航船

ドライ貨物につきまして、石灰石輸送契約の新規獲得により原料輸送量は前年同期比で微増となった一方、鋼材は国内需要の持ち直しが見られたものの、度重なる台風の影響により、輸送量はほぼ横ばいで推移しました。電力・セメント関連貨物においても安定した輸送量を確保しましたが、その他一般貨物の荷動きが低迷したことなどにより、当初の計画を達成することは出来ませんでした。

タンカーにつきまして、LNG輸送は、原油安をきっかけとするLNG価格の割高感等により需要が低迷し、輸送量が伸び悩みました。また、LPG輸送においても、民生用・工業用ともに需要の回復は見られず輸送量は低迷するなど、全体的に停滞ムードが漂うなか、継続的に効率運航に努めた結果、当初の計画を達成することが出来ました。

トピックス

米ロングビーチ港より環境対策への感謝状とグリーンフラッグを受領

米ロングビーチ港では船舶からの排気ガス抑制を目的とした沿岸減速航行プログラム「グリーンフラッグプログラム」を平成17年より実施しており、同港寄港船に減速を推奨し、1年を通じて90%以上の運航船が減速規定を遵守した船社に「環境賞」と「グリーンフラッグ」を贈っています。当社は平成27年に同規定を達成し、5月6日付で同港港湾局本部より感謝状とグリーンフラッグが贈呈されました。当社は今後も環境保全のため、自主的な取り組みに加え、寄

港地・関係先の取り組みにも協力してまいります。



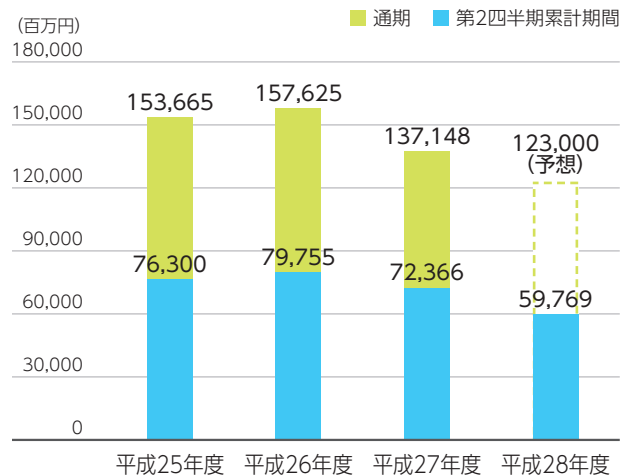
NSU SIRIUS 竣工

今治造船(株) 広島工場にて建造しておりましたケーブ型撒積運搬船「NSU SIRIUS」が本年9月に竣工しました。本船は外板に高延性造船用鋼板を、船倉に腐食を低減できる高耐食性厚鋼板を使用している他、燃費向上が期待される最新式の電子制御エンジンを搭載し、安全性の向上と環境負荷の低減を図っております。当社は世界の海を舞台に海上輸送サービスを提供する海運企業グループとして、全人類の共通財産である地球の環境保全に努め行動します。

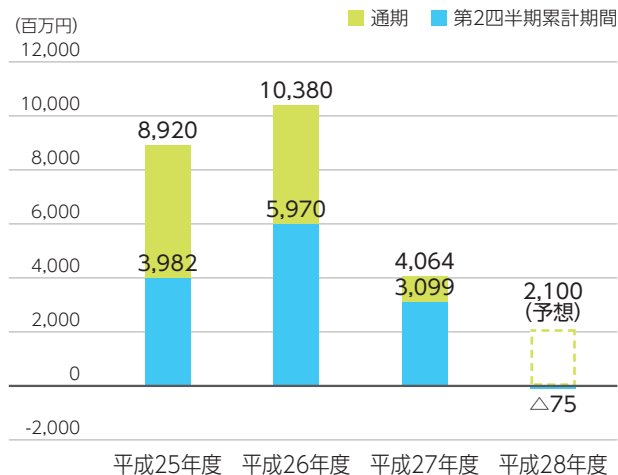


連結財務ハイライト

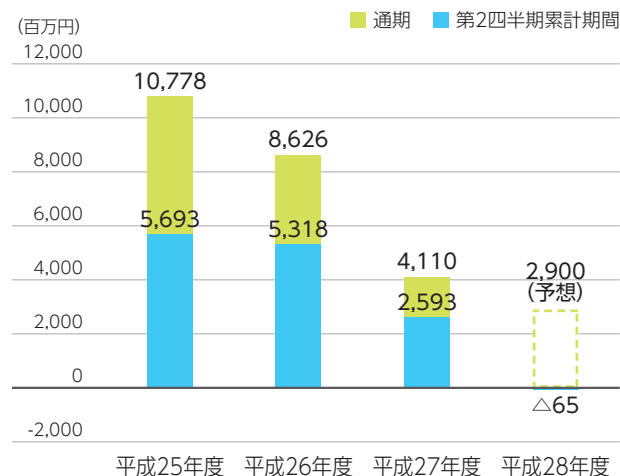
売上高



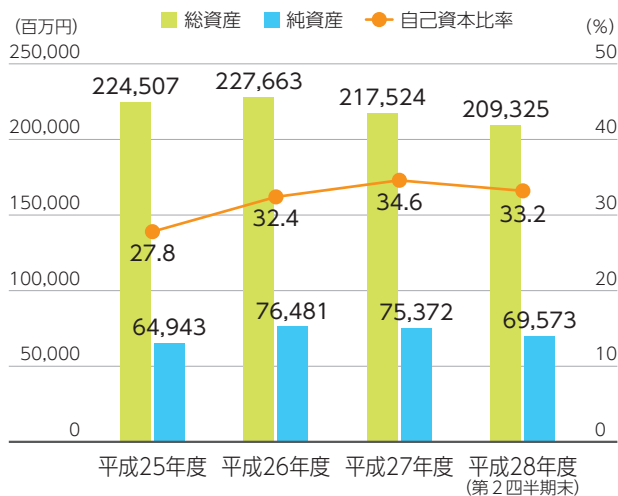
経常利益



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



総資産・純資産・自己資本比率



連結財務諸表

四半期連結損益計算書（要旨）（第2四半期連結累計期間）（単位：百万円）

	科 目	前第 2 四半期 平成27年4月 1 日から 平成27年9月30日まで	当第 2 四半期 平成28年4月 1 日から 平成28年9月30日まで
Point 1	1 売 上 高	72,366	59,769
	売 上 原 価	65,332	54,525
	売 上 総 利 益	7,034	5,244
	一 般 管 理 費	3,197	2,885
	営 業 利 益	3,837	2,359
	営 業 外 収 益	300	160
Point 2	2 営 業 外 費 用	1,038	2,594
	経常利益又は経常損失（△）	3,099	△75
	特 別 利 益	188	37
	特 別 損 失	—	57
	税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	3,287	△95
Point 3	3 法人税等	724	△27
	四半期純利益又は四半期純損失（△）	2,563	△68
	非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△31	△3
	親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	2,593	△65

Point 1 売上高

△125億97百万円

市況の低迷および円高の影響により
売上高が減少しました。

Point 2 営業外費用

+15億56百万円

大幅な円高により為替差損が前年同期比
16億91百万円増加しました。

Point 3 法人税等

△7億51百万円

税金等調整前四半期純利益が前年同期比で
減少したことが主要因です。

第2四半期連結貸借対照表（要旨）（単位：百万円）

科 目	前期末 平成28年3月31日現在	当第2四半期末 平成28年9月30日現在
資産の部		
Point 4 流動資産	51,979	47,123
固定資産	165,545	162,202
資産合計	217,524	209,325
負債の部		
流動負債	51,260	46,843
固定負債	90,893	92,908
負債合計	142,153	139,751
純資産の部		
株主資本	74,650	73,642
Point 5 その他の包括利益累計額	702	△4,085
非支配株主持分	19	16
純資産合計	75,372	69,573
負債純資産合計	217,524	209,325

Point **4** 流動資産

△48億57百万円

Point **5** その他の包括利益累計額

△47億87百万円

大幅な円高により為替予約の評価益が縮小したことで、デリバティブ債権（流動資産）が前期末比△45億4百万円減少し、繰延ヘッジ損益（その他の包括利益累計額）が前期末比△39億11百万円減少しました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：百万円）

科 目	前第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	当第2四半期 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
Point 6 営業活動による キャッシュ・フロー	9,359	8,880
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,814	△5,734
Point 7 財務活動による キャッシュ・フロー	△9,541	△3,822
現金及び現金同等物に 係る換算差額	41	△267
現金及び現金同等物の 増減額	△6,955	△943
現金及び現金同等物の 期首残高	30,485	24,035
現金及び現金同等物の 四半期末残高	23,530	23,092

Point **6** 営業活動による
キャッシュ・フロー

△4億79百万円（収入減）

Point **7** 財務活動による
キャッシュ・フロー

+57億18百万円（支出減）

税金等調整前四半期純利益が前年同期比で減少しましたが、減価償却費等の非資金損益項目の増加により前年同期比微減に留まりました。

船舶竣工に伴う建造資金の支払のために新規借入を行ったことで、長期借入による収入が54億円増加したことが主要因です。

会社の概要 (平成28年 9月30日現在)

設立年月日 昭和25年4月1日

主要な事業内容 外航貨物海上運送事業およびこれに関連または付帯する事業

資本の額 10,300,000,000円

上場取引所 東京（市場第一部）
〒100-8108
東京都千代田区大手町一丁目5番1号
Tel (03) 6895-6400（番号案内席）

駐在員事務所 ロンドン、香港、上海、ベトナム

海外法人従業員数 英国、米国、香港、シンガポール、フィリピン
陸上175名、海上41名 計216名
（出向者を含みます）

運航船腹量（単体） 117隻（1,151万重量トン）

役員

取締役および監査役

代表取締役社長・社長執行役員 小 畠 徹

取締役・専務執行役員 平 松 宏

取締役・常務執行役員 菅 原 泰

取締役・常務執行役員 三 浦 和 也

取締役・常務執行役員 矢 口 新

取締役（社外） 谷 水 一 雄

取締役（社外） 端 山 真 吾

取締役（社外・独立） 木 下 雅 之

常勤監査役（社外） 野 口 政 明

監査役（社外・独立） 高 畑 尚 紀

監査役（社外・独立） 三 谷 康 人

執行役員

常務執行役員 峯 村 保 広

常務執行役員 小山田 充 宏

執行役員 中 田 義 文

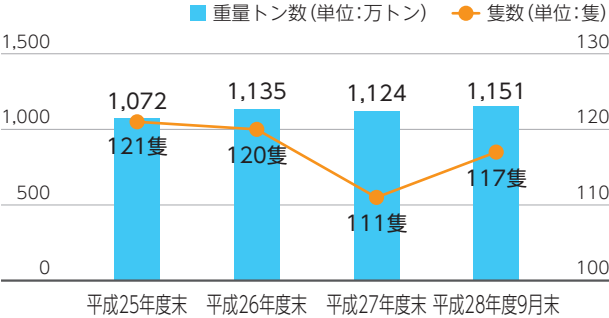
執行役員 石 川 寛 二

執行役員 福 田 和 志

執行役員 宮 井 成 彦

執行役員 吉 川 誠

船腹量の推移（重量トン）



株式の状況

発行済み株式の総数 239,706,793株

株主数 8,455名（単元未満株主も含みます）

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
新日鐵住金株式会社	78,612	33.36
日本郵船株式会社	43,247	18.35
東京海上日動火災保険株式会社	8,765	3.72
株式会社みずほ銀行	7,989	3.39
三菱重工業株式会社	5,400	2.29
新健海運股份有限公司	5,048	2.14
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,896	2.08
三井住友海上火災保険株式会社	4,133	1.75
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	3,112	1.32
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,594	1.10

（注）当社は自己株式4,024千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

（注）出資比率は自己株式（4,024千株）を控除して計算しております。

主要なグループ会社

NSユニテッド内航海運株式会社 内航海運業

NSユニテッドタンカー株式会社 内航海運業

NSユニテッドマリンサービス株式会社 安全監督・新造船建造監督業

日邦マリン株式会社 船員派遣事業

NSユニテッドビジネス株式会社 経理業務受託

NSユニテッドシステム株式会社 情報システムの開発・保守業

NS UNITED TANKER PTE. LTD. 外航海運業

NS ユナイテッド海運グループ

企業理念

I 基本理念

NSユニテッド海運グループは、誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて社会の発展に貢献します。

II 経営理念

1 (信用・信頼)

信用・信頼される堅実な経営を実践し、グループ全体の企業価値を高めます。

2 (安全運航・環境保全)

常に船舶の安全運航に努めるとともに船舶運航技術の向上に向け日々研鑽を積むことにより海洋をはじめとする地球環境保全の一翼を担います。

3 (お客様への即応・自己変革)

お客様の要請に即応しつつ自らも変革に努め、さらなる進歩を目指して挑戦します。

4 (人を育て活かす)

人を育て活かし、働く喜びを実感できる活力溢れるグループを築きます。

III 企業行動規範

- 1 法令・規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。
- 2 公正かつ自由な競争ならびに適正な取引を行い、政治・行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
- 3 広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正に開示するとともに各種情報の保護・管理を徹底します。
- 4 安全・健康で働きやすい職場環境を実現するとともに、従業員の人格と多様性を尊重します。
- 5 社会の一員として、積極的に地域・社会に貢献します。
- 6 反社会的勢力や団体とは一切の関係を持たず、不当な要求に対しては、断固たる態度で臨みます。
- 7 各国・地域の法律を遵守し、各種の国際規範、文化、慣習等を尊重して事業を行います。
- 8 本規範を遵守し、その確実な実行に向けた体制を確立するとともに、本規範に违背する事態が発生した時は、迅速に原因究明と再発防止に努め、的確に説明責任を果たします。

平成25年10月1日

NS ユナイテッド海運グループ

環境方針

- 1 私たちは、世界の海を舞台に海上輸送サービスを提供する海運企業グループとして、全人類の共通財産である地球の環境保全に努め行動します。
- 2 私たちは、環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に努め、汚染の予防に努めます。
- 3 私たちは、船舶の運航及び事務所内活動において適用される環境の法規制及びその他の要求事項を順守します。
- 4 私たちは、各部門において環境方針に適合した環境目的および環境目標を設定し、実施計画に従って目的及び目標の達成に努めます。また環境目的と目標を確実に達成するために、定期的に達成度のレビューを行います。
- 5 私たちは、環境教育・広報活動などにより、NSユニテッド海運グループのために働くすべての人が環境問題に対する意識を高め、本環境方針に基づき、行動するように努めます。
- 6 私たちは、私たちのサービス提供に必要な船舶、機器類、その他の製品および資材の環境負荷の低減を考慮した調達に努めます。
- 7 私たちは、NSユニテッド海運グループ全体で、省エネルギー、省資源の推進を図ると共に、廃棄物の削減及びその適正な処分に努めます。
- 8 私たちは、環境方針及び環境保全活動を必要に応じ公表します。

平成23年6月28日

NSユニテッド海運株式会社
代表取締役社長

小島徹

株主メモ

決算期日	3月31日	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
期末配当金支払株主確定日	3月31日		
(中間配当金支払株主確定日	9月30日)	同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会開催日	6月下旬		本店証券代行部
同総会権利行使株主確定日	3月31日		

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部
電話お問い合わせ先		☎フリーダイヤル0120 (288) 324 (土・日祝日を除く9:00～17:00)
各種手続取扱店	お取引の証券会社に なります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行株式会社本店および全国各支店 ※トラストランジではお取り扱いできませんのでご了承 ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の 「特別口座の場合」の郵便物送付 先・電話お問い合わせ先・各種 手続取扱店をご利用ください。	特別口座では単元未満株式の買取・買増以外の株 式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、 株式の振替手続を行っていただく必要があります。

基準日	上記確定日のほか、必要あるときは予め公告の上、基準日を定めます。
単元株式数	1,000株
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.nsuship.co.jp/ (ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が 生じたときには、東京都において発行される日本経済新聞に掲載されます。)
証券コード	9110
ホームページアドレス	http://www.nsuship.co.jp/ (決算情報などがご覧になれます。)

【単元未満株式に関するお知らせ】

1,000株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を、平成22年10月1日より導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。



NS ユナイテッド海運株式会社
〒100-8108 東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエア ウェスタワー
TEL 03-6895-6400



(※)ISO9001は船舶管理部門のみ取得しております。

ホームページのご案内

ホームページでは、IR情報をはじめさまざまな情報をタイムリーに発信しております。是非ご覧ください。



【トップページ】

<http://www.nsuship.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。



森林管理協議会(Forest Stewardship Council®)で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。